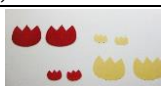
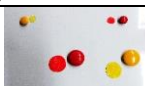
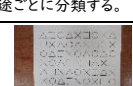


酒田特別支援学校知的小学部 算数科2段階

数と計算	ものともを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること。					
		・3以上の数を扱う。 ・お皿に1つずつお皿やスプーンを配る。				
	ものの集まりと対応して、数詞が分かること。					
		指導者の「(1～5の数) 個ください。」に応じて、正しい個数を渡す。				
	ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。					
		ケースの中に、数字の数のフェルトボールを入れる。	ケースの中に、数字の数の棒を入れる。	ドットや絵の数と数字カードを対応させる。	指数字と数字カードを対応させる。	数唱しながら1から順番に数字パズルをつなげる。
						
		的をめがけてボールを投げ、当たった数字を読み上げる。	枠の中に、数字の数ぶんの絵カードを貼る。	枠の中に、数字の数ぶんの絵カードを貼る。		
	個数を正しく数えたり書き表したりすること。					
		的当てゲームを10回して、表に記号カード(○△□)を貼って記録し、○△□の的にそれぞれ何回当たったかを数字で書き表す。	具体物を10個ずつ袋に入れる。			
	二つの数を比べて数の大小が分かること。					
		2枚の数字カードを比較して、どちらが多いか、少ないかを答える。	提示された皿の中の数の数を比較して、どちらが多いか少ないかまたは、同じかを答える。			
	数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。					
	0の意味について分かること。					
	一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめること。					
		数詞の数だけ具体物を取り、ケースに入れる。	ブロックを操作して、分解された一方の数を数字カードから選ぶ。	絵カードを操作して、分解された一方の数を数字カードから選ぶ。	指導者が両手におはじきを持ち片手のおはじきを提示したとき、もう片方の個数を答える。	具体物を操作して、いくつといくつに分けられたかを答える。
	具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみる。					

図形	10の補数が分かること。					
		カードを2枚を見て、「合わせていくつ」の質問に答える。				
	色や形、大きさに着目して分類すること。					
		手渡しされたゴインを、同じ色の入れ口からタッパーに入れる。(青緑赤黄)	タッパーの中央の5色の丸を見て、その丸の前後の穴にスプーンを差し込む。	8種類から同じ色の蓋とペットボトルを選んで閉める。(青緑赤黄水ピンク黒黄緑)	12種類の中から同じ色のカードと洗濯ばさみを選んで挟む。(青緑赤黄白水ピンク黒黄緑オレンジ紫茶)	印の上に、大きさが同じ花のカードを貼る。
						
		印の上に、大きさと色が同じ花のカードを貼る。	印の上に、大きさと色が同じ丸磁石を貼る。	12個の積み木を色(青緑赤黄)や形(○△□)で分ける。	机上の6匹の魚を釣り上げ、同じ形と大きさの枠に置く。	枠と同じ色(赤、青、黄)で、同じ形(○△□)のパズルを選んで、枠にはめる。
						
		ケースと同じ色(青、黄、緑、赤)で、同じ色の絵カードを弁別する。	厚紙と同じ形をした封筒(クリアファイルで作成)に入れる。	見本の写真カードの大きさをもとに、同じ大きさの丸同士を分類する。	見本の写真カードの大きさをもとに、同じ大きさの丸同士を分類する。	見本の写真カードの大きさをもとに、同じ大きさの四角同士を分類する。
						
		黒または、いろいろな色の図形カード(○△□)を仕切りが付いた入れ物(○△□の見本あり)に入れる。	印の上に、色(赤、青、黄)と形(○△□)が同じカードを貼る。	ケースの蓋と同じ色(赤、白)で、同じ色の札を選んで入れる。	同じ色(赤、緑、青、黄)同士の靴を組み合わせる。1段階 一對のものの組み合わせと関連	3色(緑、赤、黄)のスプーンを同じ色ごとにケースに入れる。
	身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。					
		指導者の言葉掛けを聞いたり、ボードに書かれた平仮名(かく・たべる)を見たりして、用途ごとに分類する。				
測	身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ること。					
		線で描かれた丸、三角、四角の中から、指定された図形を探す。	身の回りの物の絵カードを、丸と四角に弁別する。	身の回りの物の写真や絵カードを、丸と四角と三角に弁別する。	丸、三角、四角の色板で、丸、三角、四角の仲間分けをして表にする。	標識カードで、丸、三角、四角の仲間分けをして表にする。
	縦や横の線、十字、△や□をかくこと。					
	大きさや色など属性の異なる物であっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。					
		身の回りの物の絵カードを、丸と四角に弁別する。	身の回りの物の写真や絵カードを、丸と四角と三角に弁別する。	様々な属性をもつ形の集合から、丸、三角、四角で仲間分けをして表にする。	色や書かれているものが異なるなどの属性をもつ様々な標識で、丸、三角、四角で仲間分けをして表にする。	
測	長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。					
	二つの量の大きさについて、一方を基準に					

定	して相対的に比べること。	長さの異なる2本のにんじんを抜いて、長さを比べる。	大きさの異なる2つのボールを見て、大きさを比べる。			
	長い短い、重い軽い、高い低い及び広い狭いなどの用語が分かること。	 「どっちが長い？」の質問に、言葉や指差して答える。	 「どっちが大きい？」の質問に、言葉や指差して答える。			
データの活用	身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。					
	ものとものを対応させることによって、ものの同等や多少が分かること。					
	身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。					
	簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。					

最終更新日：令和7年1月22日